

近年、普及に移した品種 ~リンゴ、カキ、モモ~

富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所果樹研究センター

リンゴ極早生品種「紅みのり」

1. 背景

県内のリンゴ栽培は、庭先販売が中心で、「ふじ」に偏重していることから、販売期間の拡大と、多様化する消費者ニーズに応える品種が求められている。

※「紅みのり」の来歴

(国開)農研機構で、「つがる」に「ガラ」を交配して育成。2019年品種登録。

8月			9月
上旬	中旬	下旬	上旬
	紅みのり		
あおり16		さんさ	

図「紅みのり」と主な極早生、早生品種の収穫期(イメージ)

2. 特性

- 1) 収穫期は8月中下旬。
- 2) やや大玉で円錐形の果形。濃赤色で着色はやや良く、外観はきれい。
- 3) 果肉はやや硬めで果汁が多い。甘酸適和で食味は良好。
- 4) 極早生、早生品種の中では日持ち性に優れる。



図「紅みのり」の外観

表「紅みのり」の果実品質

品種名	果実重 (g)	着色 面積 (%)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (%)	貯蔵性 (室温) (日)
紅みのり	298	75	16.8	14.1	0.30	11
あおり16(恋空)	261	81	14.8	12.7	0.25	7
さんさ	251	60	14.2	14.6	0.32	7

※「紅みのり」は2012~2018年の平均値、「あおり16」、「さんさ」は2009~2018年の平均値

甘ガキ晩生品種「太豊」

1. 背景

県内の甘ガキ晩生品種は、収穫期前から低温にさらされるため糖度の向上が不十分で、経済栽培に至っていない。このため、甘ガキの新たな需要が期待できる本県に適した晩生品種が求められている。

※「太豊」の来歴

(国開)農研機構で、「興津20号(「袋御所」×「花御所」)」に「太秋」を交配して育成。2015年品種登録。

10月			11月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
早秋			陽豊		太豊
	甘秋				富有
		太秋			

図「太豊」と主な甘ガキ品種の収穫期(イメージ)

2. 特性

- 1) 収穫期は「富有」とほぼ同時期で、収量は「富有」より多い。
- 2) 「富有」より果実重は大きく、糖度は高い。洗抜きは安定している。
- 3) 果肉は「太秋」に近いサクサクとした食感で、果汁が多く、食味は良好。
- 4) 果実の形状は腰高の扁円形。生理障害は少ない。



図「太豊」の外観

表「太豊」の収量、果実品質

品種名	収量 (kg/樹)	果実重 (g)	糖度 (Brix%)	硬度 (kg)	含核数	生理障害		
						へた ² すき	果頂 裂果	条紋
太豊	41	336	16.1	1.4	0.9	0.6	なし	なし
富有	23	293	15.3	2.0	4.0	1.4	なし	なし

※2013~2018年の平均値。「太豊」高接ぎ10年生、「富有」11年生(2018年時点)。

² 0(なし)~3(大)の4段階で目視評価

モモ中生品種「陽夏妃」

県内のモモ栽培は、庭先販売が中心であるため、複数の品種を切れ目なくつなぐリレー販売が重要となっている。特に、最も需要が高い旧盆前に成熟する食味良好な品種が求められている。

※「陽夏妃」の来歴

福島県伊達市のモモ生産者が「いけだ」の自然交雑実生から育成。(株)天香園が2009年に品種登録。

7月		8月	
下旬	上旬	中旬	
あかつき	よしひめ		
	まさひめ		
	陽夏妃		川中島白桃

図「陽夏妃」と主なモモ品種の収穫期(イメージ)

2. 特性

- 1) 花粉を有し、自家結実性がある。
- 2) 収穫期は旧盆前の8月5日~10日頃で、盛期は8月8日。
- 3) 果形はやや扁円で、濃赤色に良く着色する。果実重は「よしひめ」と同程度に大きい。果肉はやや硬めで、果汁が多く、香りは強い。
- 4) 核割れは発生せず、みつ症が少発生する。



図「陽夏妃」の外観

表「陽夏妃」の果実品質

品種名(樹齢)	果実重 (g)	着色面積 (%)	硬度 (kg)	糖度 (Brix%)	酸度 (pH)	核割れ (%)	みつ症 程度 ²	みつ症 発生割合(%)
陽夏妃(7)	356	78	2.3	14.0	5.00	0	0.4	23
あかつき(18)	337	63	1.9	14.4	4.61	21	0.3	17
よしひめ(19)	353	61	2.0	12.7	4.36	3	0.2	11
まさひめ(15)	340	46	2.2	14.4	4.45	18	0.1	5
川中島白桃(10)	378	59	2.0	14.7	4.62	0	0.6	52

※2017~2019年の平均値

² みつ症程度無(0)、軽(1:果肉繊維周辺に水浸状のみつ症が見られる)、中(3:果肉の1割程度にみつ症が見られる)、甚(5:果肉の3割以上にみつ症が見られ複雑する)で評価し、「0×無の個数+1×軽の個数+3×中の個数+5×甚の個数」調査果数を値で示す。